

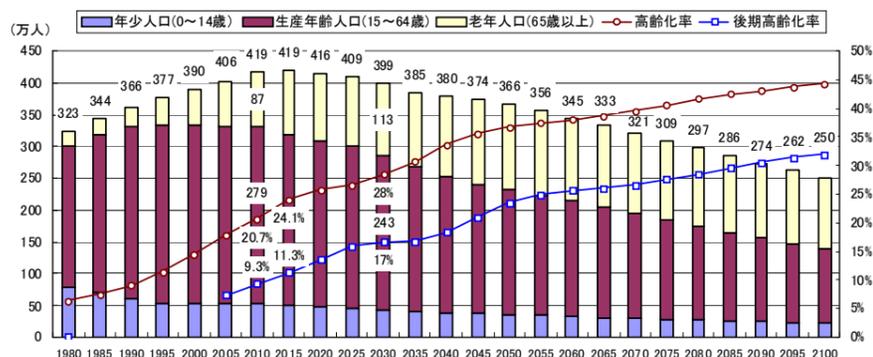
「新たな多摩のビジョン行動戦略」の概要

1 策定の背景・趣旨

新たな多摩のビジョン(平成25年3月)

(1) 多摩地域を取り巻く状況の変化

人口減少、高齢化の進展、大規模工場の撤退など
多摩地域を取り巻く状況は大きく変化



<多摩地域の人口の推移>

- ・平成27年の419万人をピークに減少。2030年には400万人を下回る想定
- ・高齢化率は、2010年の約21%が、2030年には約28%にまで上昇

(2) 新たな多摩のビジョンの概要等

多摩地域の厳しい状況変化に対応するため、新たな多摩のビジョンを策定

<概要>

- 「多摩の将来像2001」に次ぐ多摩振興の基本構想
- 都、市町村、民間企業、NPOなどあらゆる主体を対象とした活動指針を目指し、おおむね2030年頃を念頭に多摩の進むべき方向性を明示

<ビジョンを貫く考え方>

- 基本認識
「右肩上がりの成長・拡大」から「活力ある都市の成熟・持続」への発想の転換
- 目指すべき姿
魅力にあふれ、活力に満ち、安全・安心が確保された多摩

取組を具体化

新たな多摩のビジョン行動戦略の策定

○ビジョンで示した目指すべき多摩の姿を実現するため、3つの基本的な考え方の下に、都、市町村、民間等の多摩地域の各主体の取組を体系的にとりまとめ

<策定の基本的な考え方>

- ①歴史、文化、自然など多摩地域の強みを発揮 ②2020年オリンピック・パラリンピックの開催など歴史的な契機を活用 ③行政、民間企業、NPOなど多摩の総力を結集

2 本戦略の概要とポイント

- <概要> ◇ 「ビジョンが目指す多摩の姿」の目標年次：2030年 ◇ 計画期間：平成26年度～平成28年度(3カ年)
◇ 事業数等：都事業 約170 市町村・民間等の取組 約60 ◇ 平成26年度都事業費：約4,000億円

<ポイント1>

「ビジョンが目指す多摩の姿」と多様な主体の取組を提示

- ・まちづくりや高齢者、子育てなど12の分野で「ビジョンが目指す多摩の姿」を明示
- ・市町村や民間等による地域特性を踏まえた先進的な取組として60の取組をとりまとめ

<ポイント2>

20の行動戦略と3つの戦略的視点

- ・多摩地域の持続的な発展に向けた取組を、20の行動戦略として示す。
- ・各主体の具体的な行動を促進するため、各戦略ごとに3つの「戦略的視点」を明示

<ポイント3>

戦略の推進体制の整備

- ・副知事を本部長とする「多摩島しょ振興推進本部」の下に、戦略を推進する体制を整備
- ・都、市町村、学識経験者、民間事業者で構成する「ビジョン連携推進会議」を引き続き設置

多様な主体の共通認識を醸成するとともに相互理解を深め、一層の連携を促進

「魅力にあふれ、活力に満ち、安全・安心が確保された多摩」を実現

本戦略を多摩振興を一層推進する契機として活用するとともに、今後もビジョンの方向性を踏まえ更なる取組を積み重ね

3 行動戦略における主な取組

第1章 持続可能な暮らしやすいまちづくり

まちづくり

- <行動戦略1> 地域独自の魅力に根差した成熟したまちづくりの推進
- 「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画(仮称))」の策定
 - 歴史・文化など地域特性を活かしたまちづくり(八王子市ほか)
 - 多摩ニュータウンの団地再生支援等(都、民間、多摩市)
 - 多摩平団地の再生と公共サービス機能の集積(民間、日野市)



花街の歴史を活かしたまちづくり(八王子市)



諏訪二丁目団地(多摩市)

スポーツ・文化

- <行動戦略2> オリンピック・パラリンピック開催を見据えたスポーツ・文化の振興

- 多摩地域におけるスポーツ施設整備の促進
- 山間部の地形を活かした自転車ヒルクライム大会(檜原村)
- 多摩の魅力発信プロジェクトなどによる魅力発信



味の素スタジアム周辺

子育て・教育

- <行動戦略3> 子育て環境の充実強化と将来を支える人材の育成

- 認証保育所、小規模保育等の多様な保育サービスの提供
- NICU整備などによる周産期医療体制の強化
- 理数教育の充実、高校生の海外留学の支援

高齢者・障害者など

- <行動戦略4> 高齢者が健康でいきいきと活躍する社会の実現

- 「機能強化型地域包括支援センター」の設置促進
- 所有地を活用した高齢者福祉施設等の整備促進

- <行動戦略5> 障害のある人もない人も共に暮らす地域社会の実現

- 府中療育センターの機能強化、障害者の地域生活基盤の整備

- <行動戦略6> 健康と安心を支える医療体制の整備

- 多摩メディカルキャンパスにおける救急患者受入体制の充実

第2章 高付加価値を生み出す企業活動の促進

産業

- <行動戦略7> 産業集積の強みを活かしたイノベーションの創出

- 産産・産学公の交流・連携による新製品・新サービスの創出
- 地元企業等と連携した新たな事業化(西東京市)

- <行動戦略8> 地域の特性を踏まえた雇用・就業の推進

- しごとセンター多摩の就業支援機能の強化
- 地域資源を活用する地域商社の展開(民間)

第3章 地域資源を活かした産業の活性化

観光

- <行動戦略9> 地域の特性を踏まえた観光の振興

- 地域に埋もれた資源を観光資源として活用
- 森林などの自然資源を活かした観光ルートの整備



森林資源を活かした観光

農林水産業

- <行動戦略10> 農林水産物の付加価値を高め、地産地消を促進

- 「チャレンジ農業支援センター」を活用した農業の産業力強化
- 森林整備の促進と多摩産材の利用拡大

第4章 地域を支える交通インフラの整備

交通

- <行動戦略11> 地域の内外を結び多摩を支える道路ネットワークの整備

- 調布保谷線など多摩南北・東西道路等の整備の推進
- 連続立体交差事業の推進による交通渋滞の解消等
- 緊急輸送道路の拡幅整備や山間部の防災性向上等を図る道路整備



調布保谷線

- <行動戦略12>

- 公共交通ネットワークの充実と快適な交通環境整備の促進

- 主要駅周辺や緊急輸送道路等の無電柱化の推進
- 自転車レーン等の自転車走行空間の整備

第5章 災害に強いまちづくり

防災

- <行動戦略13> 耐震化の促進による地震に強い都市の実現

- 医療施設、学校、社会福祉施設等の耐震化

- 緊急輸送道路等の橋梁の耐震化の推進

- 橋梁の長寿命化の推進



橋梁の長寿命化

- <行動戦略14> 自助・共助・公助の推進による防災力の向上

- 外国人・高齢者・障害者などへの情報伝達の強化
- 消防団活動の支援や災害時要援護者の安全対策



まちかどを使った避難支援訓練

- <行動戦略15> 水害対策・土砂災害対策・雪害対策の推進

- 中小河川における護岸や調節池整備の推進
- 土砂災害警戒区域等の指定

第6章 低炭素で自立分散型エネルギーのまちづくり

エネルギー

- <行動戦略16> 低炭素・快適性・防災力を備えたスマートエネルギー都市の実現

- エネルギー管理システムの導入促進によるスマートハウス等の普及

- 「ソーラー屋根台帳」等を活用した太陽エネルギーの利用拡大



家庭用燃料電池システム

第7章 豊かな自然の保全と活用

自然

- <行動戦略17> 豊かな森林や多様な緑の保全と確保

- 良好な自然の保全や緑の骨格をなす都立公園の整備
- 地域住民との連携による森づくり(あきる野市)



野山北・六道山公園



八国山緑地の散策路

- <行動戦略18> 美しく良質な水環境の実現

- ボランティア(多摩川水源森林隊)を活用した水道水源林の適正管理



多摩川水源森林隊

- 水辺空間の緑化の推進

- <行動戦略19> 豊かな自然環境を活かした観光の推進

- 自然公園や都民の森の活用

- 豊かな自然や遊休農地を活用したクラインガルテン(奥多摩町)



おくたま海沢ふれあい農園

第8章 「成熟・持続」に対応した行政サービスの展開

行政サービス

- <行動戦略20> 多様な連携・協働による持続可能な行政サービスの推進

- 今後の人口推計結果等を見据え、東京の自治のあり方を研究
- 上下水道事業における市町村との連携の推進
- 公共施設の適正配置・集約化、行政サービスの相互利用(多摩市、三鷹市、西多摩地域広域行政圏協議会ほか)